

「日本テレコム 2005年度決算説明会」



June 2nd, 2006



アジェンダ

第一部：日本テレコムの決算概要について

第二部：日本テレコムの今後の事業について

「日本テレコムの決算概要について」



2005年度のTopics

1. グループ会社の再編

- 2005年4月 当社子会社テレコムサービス(株), ジェンス(株)と合併
- 2005年5月 日本テレコム・アイディーシー(株)の子会社化・合併(7月)
- 2006年4月 当社子会社日本テレコムネットワーク情報サービス(株)と合併
ソフトバンクBB(株)法人事業の吸収合併

2. 「おとくライン」戦略見直し

- 大企業向け直販の強化
- 中小企業向けは(株)インボイスとのJV(日本テレコムインボイス(株))に集約

3. データ通信事業の強化

- 低コスト新光アクセス「Etherコネク」の開始
- 新ブランド「ULTINA」のもと、ネットワークとアプリケーションの統合サービス提供開始

4. 新規事業の展開

- (株)ネットマークスとのJV(日本テレコムネットワークシステムズ(株))を設立
- テーブルトップサービス(サブリバ)の開始

1. 連結決算の概要

単位: 億円

	FY04 '04年4月~'05年3月 a	FY05 '05年4月~'06年3月 b	前期比 b-a
営業収益	3,358	3,537	179
営業利益	△521	△209	311
経常利益	△548	△360	188
当期利益	△816	△876	△60
EBITDA	55	195	140
CAPEX	2,058	803	△1,254

注1) EBITDA: 「営業利益」+「営業内減価償却費」+「営業内固定資産除却費」

注2) CAPEX: 取得ベース

2. 連結決算 FY05上期・下期比較

下半期は2年ぶりに営業利益黒字化達成

単位: 億円

	FY05 1H a	FY05 2H b	FY05 a+b	FY05 1H/2H比較 b-a
営業収益	1,703	1,833	3,537	129
営業利益	△243	33	△209	277
EBITDA	△37	233	195	270
CAPEX	451	352	803	△99

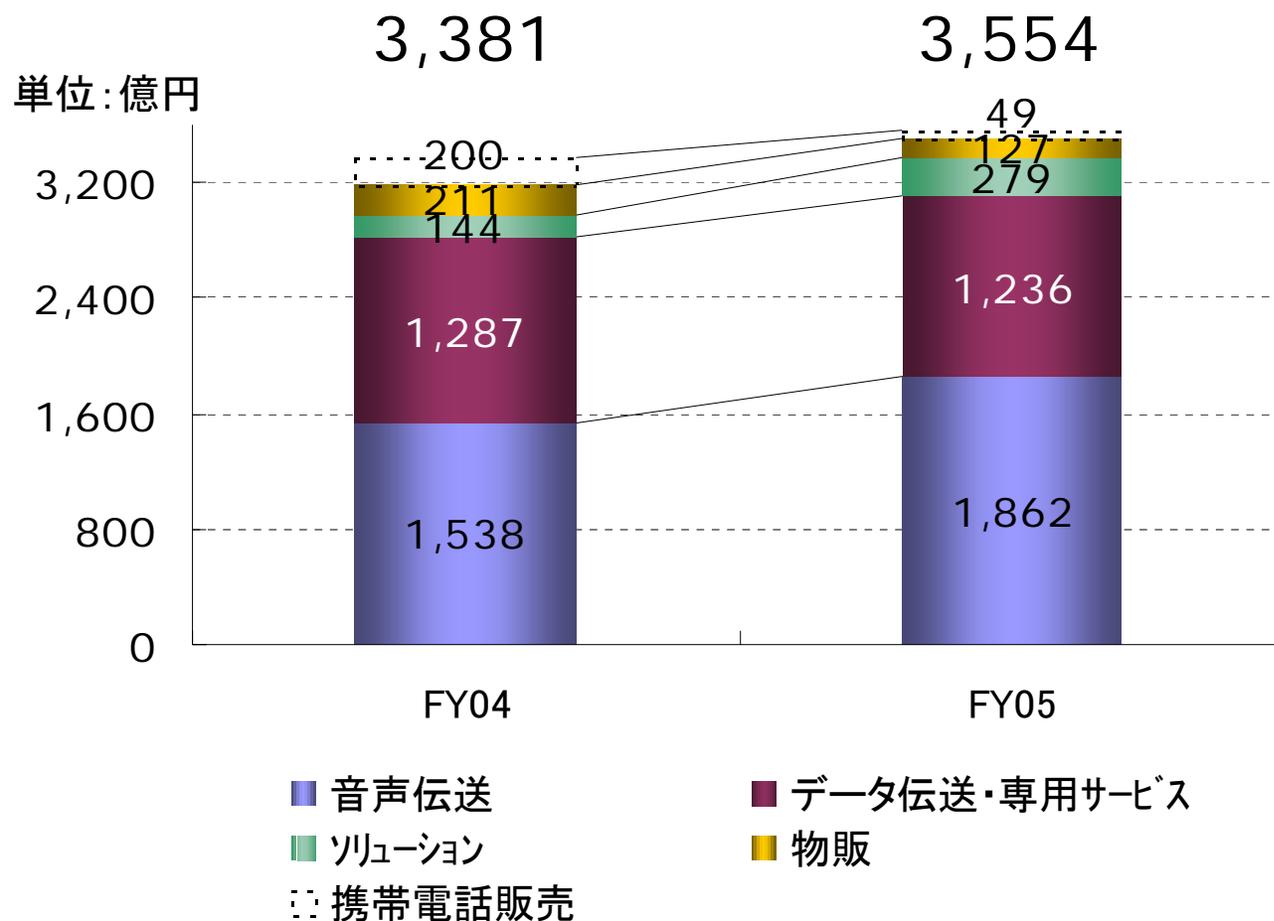
注1) EBITDA: 「営業利益」+「営業内減価償却費」+「営業内固定資産除却費」

注2) CAPEX: 取得ベース

3. 特別損失の内訳

▶ おとくライン関連	471	(単位:億円)
営業体制変更損失	254	
減損損失	180	
契約違約金	35	
▶ その他	56	
借入金借換関連費用	31	
その他	24	
合計	527	

4. セグメント別営業収益の状況



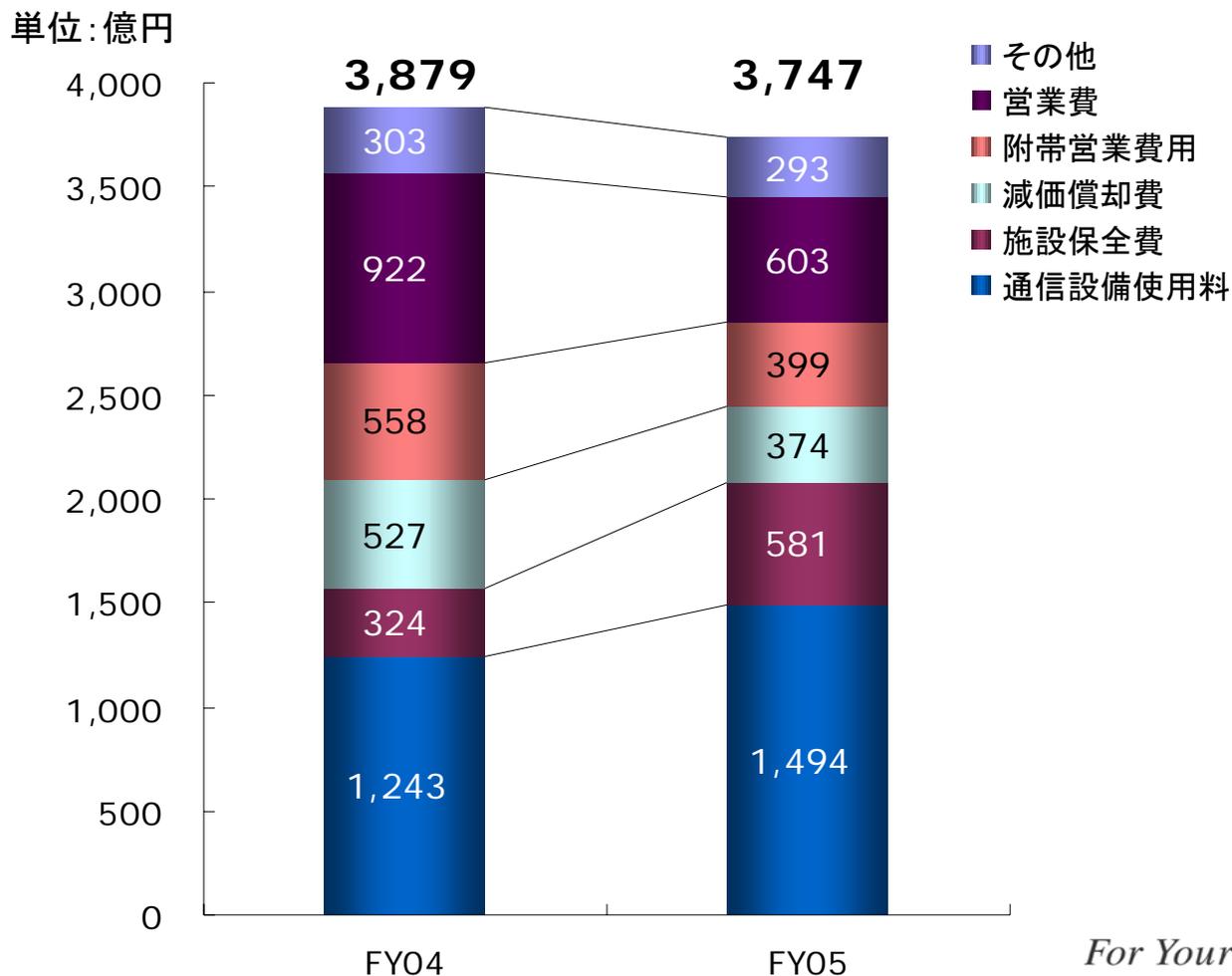
注1) その他の事業セグメント=ソリューション+物販+携帯販売に区分

注2) セグメント間の内部売上を含む営業収益

注3) 携帯電話販売事業は2005年7月に売却

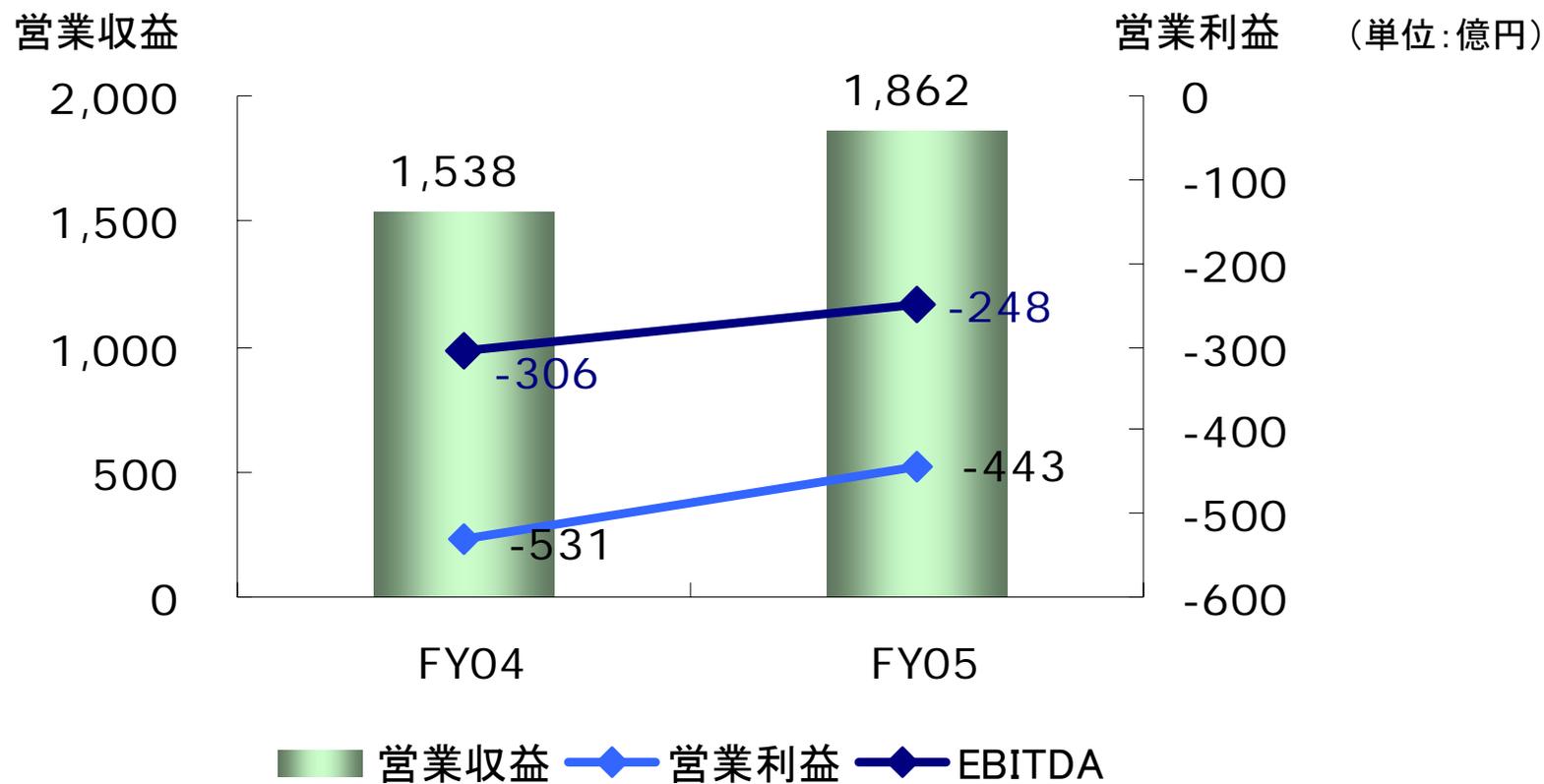
5. 営業費用の状況

通信設備使用料、施設保全費が増加したものの、
営業費等を削減し営業費用を圧縮



6-1. 音声伝送サービス事業

おとくラインの営業費削減により営業損失は改善
特に、FY05は営業損失が上期の△341億円から△101億円へ大幅改善



注) セグメント間の内部売上を含む

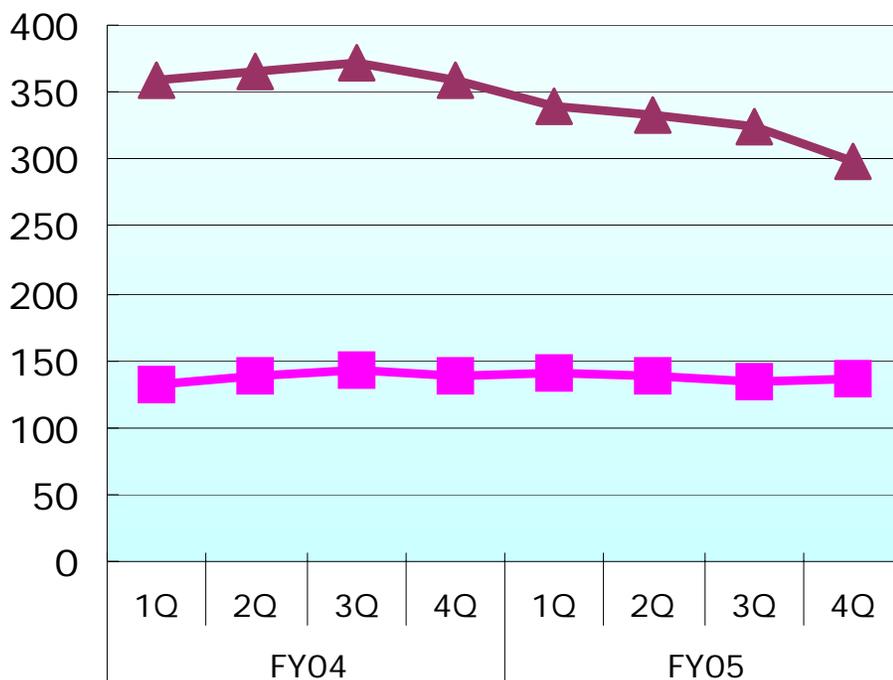
For Your Networking Universe

Copyrights Reserved © Japan Telecom

6-2. 音声伝送サービス事業

国内電話利用回線数推移
(中継電話、おとくラインの合計)

万回線



■ 法人 ▲ 個人

2006年3月末現在

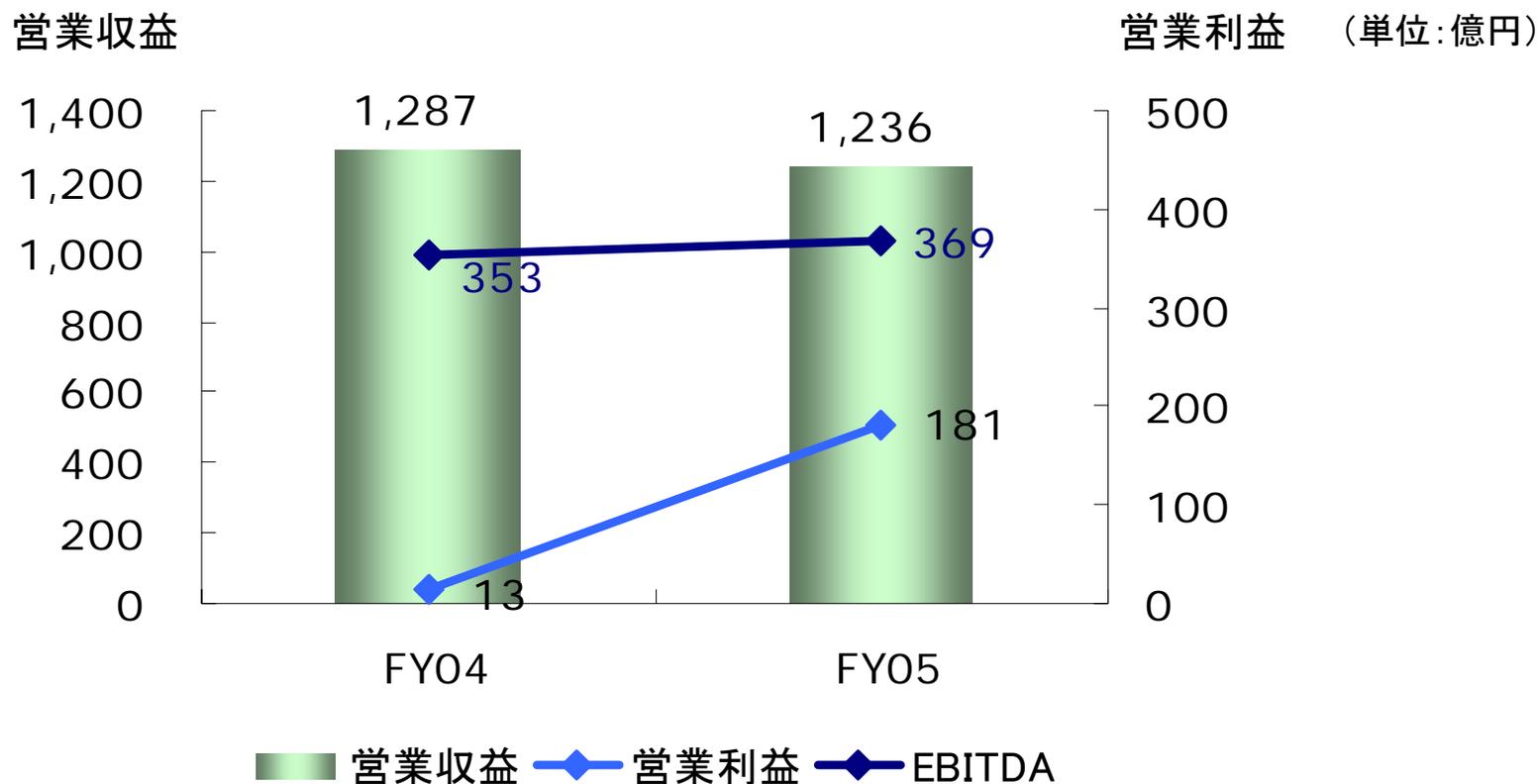
個人 299万回線

法人 136万回線

※おとくライン開通回線数 84万回線(内数)

注)各期末時点における利用回線数

7-1. データ伝送・専用サービス事業

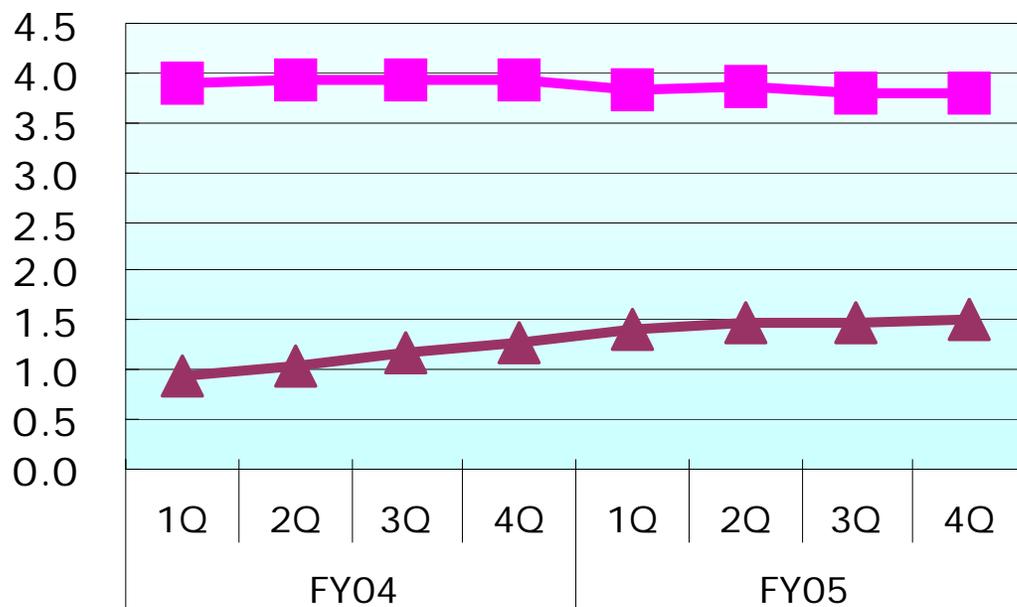


注)セグメント間の内部売上を含む

7-2. データ伝送・専用サービス事業

IP・イーサネット系利用回線数推移

万回線



■ ULTINA IP-VPN
3.8万回線(2006年3月末)

▲ ULTINA Wide Ethernet
(広域イーサネット)
1.5万回線(2006年3月末)

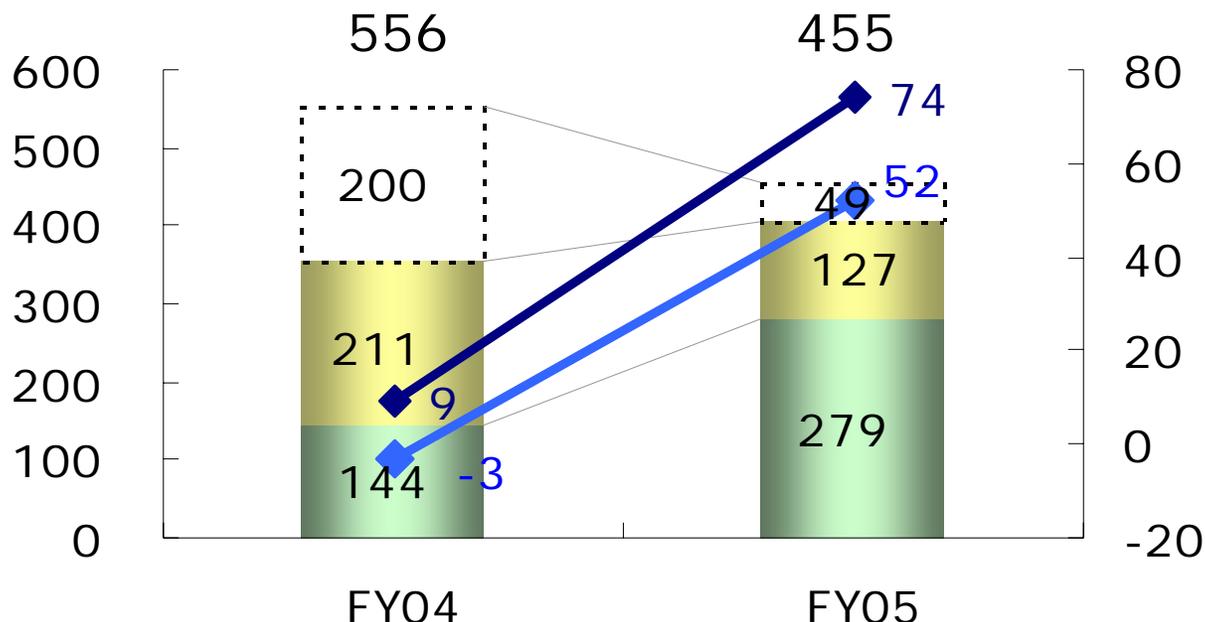
■ ULTINA IP-VPN ▲ ULTINA Wide Ethernet

注)各期末時点における利用回線数

8. その他の事業

営業収益

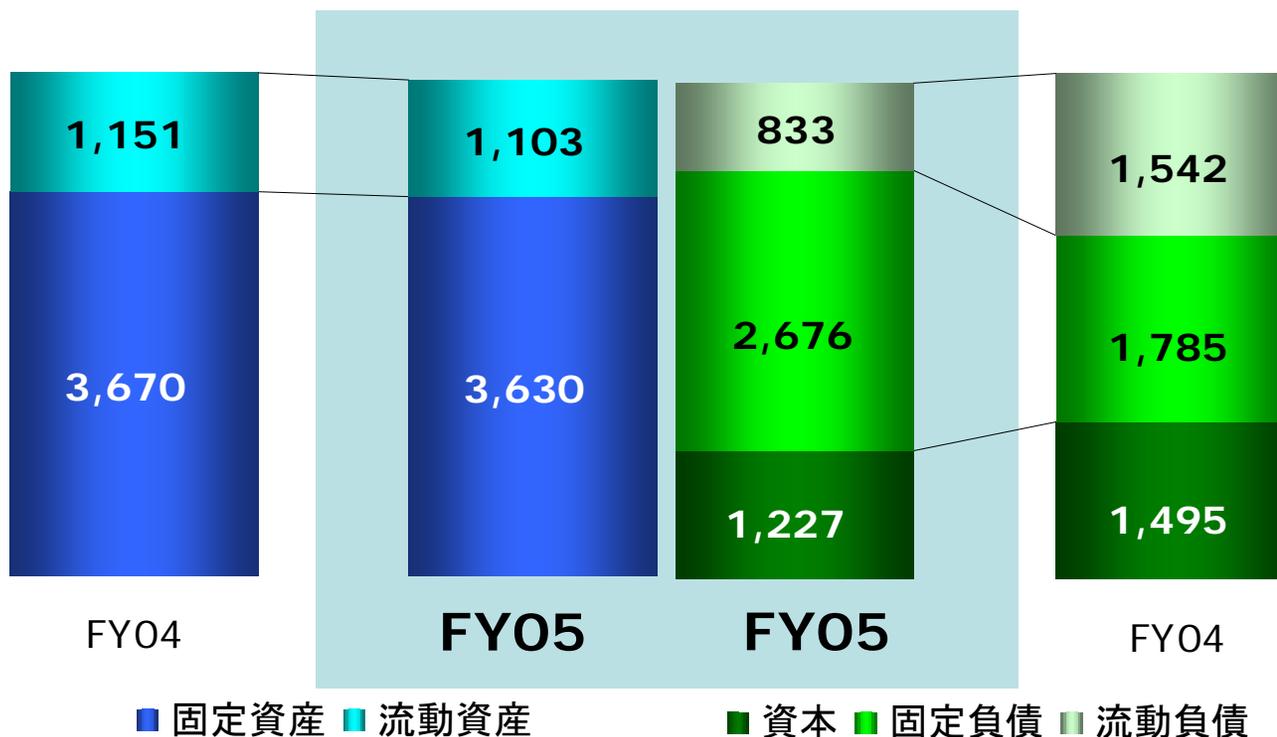
営業利益 (単位: 億円)



注) セグメント間の内部売上を含む

9. 貸借対照表の概要

(単位: 億円)



【主な変動要因】

買掛金/未払金/未払費用
 FY04 1,392億円
 FY05 496億円
 - 896億円

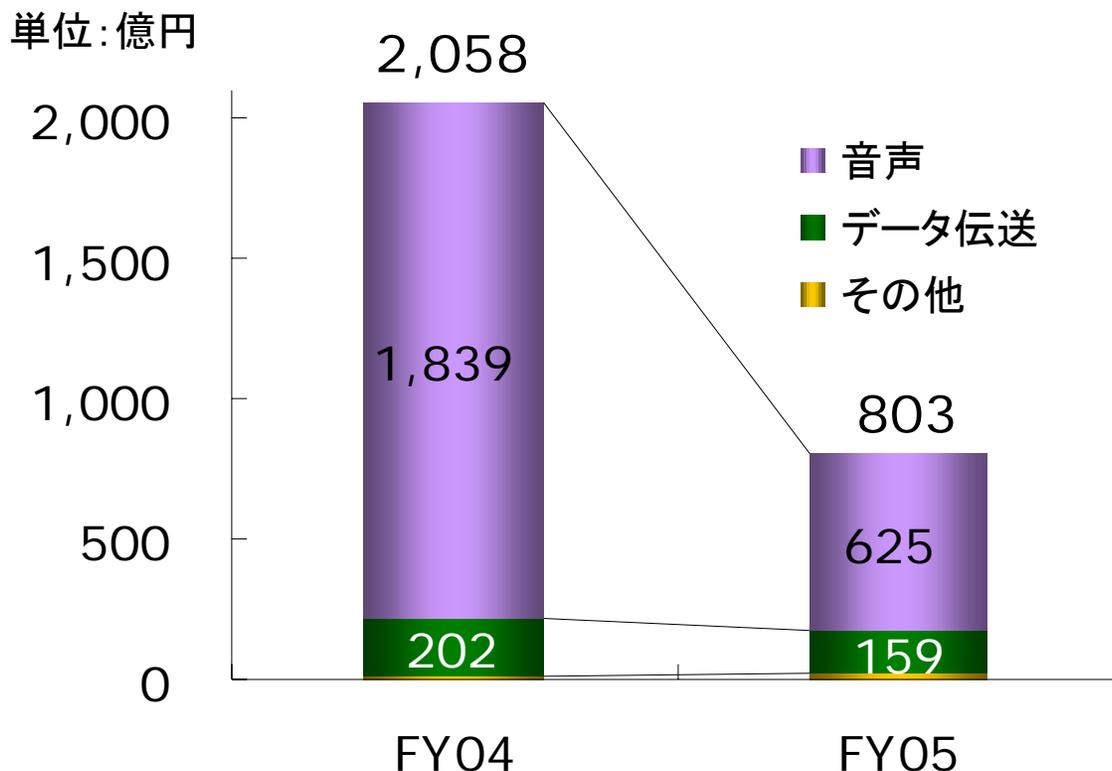
社債
 FY04 600億円
 FY05 925億円
 + 325億円

借入金
 FY04 1,060億円
 FY05 1,615億円
 + 555億円

(金融機関借入: 984億円)
 (株主借入: 631億円)

10. 設備投資の状況

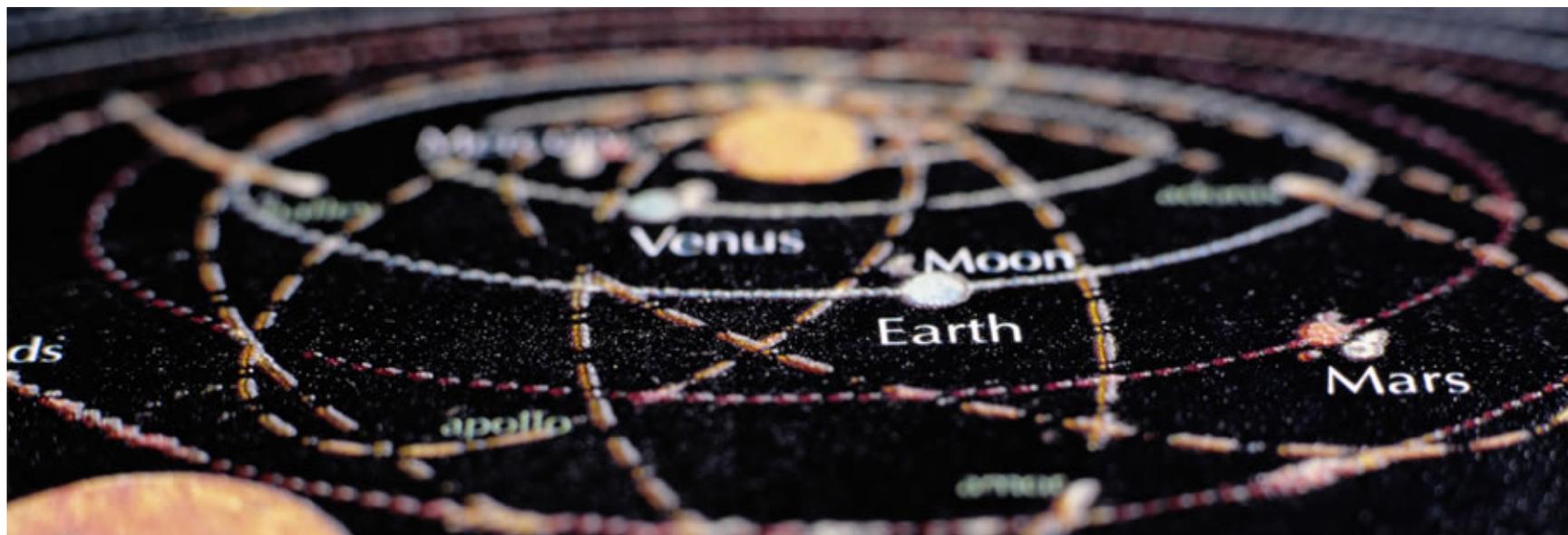
おとくラインの初期投資はほぼ終了



(内)リース調達

1,226

226



ご清聴ありがとうございました。

「日本テレコムの今後の事業について」



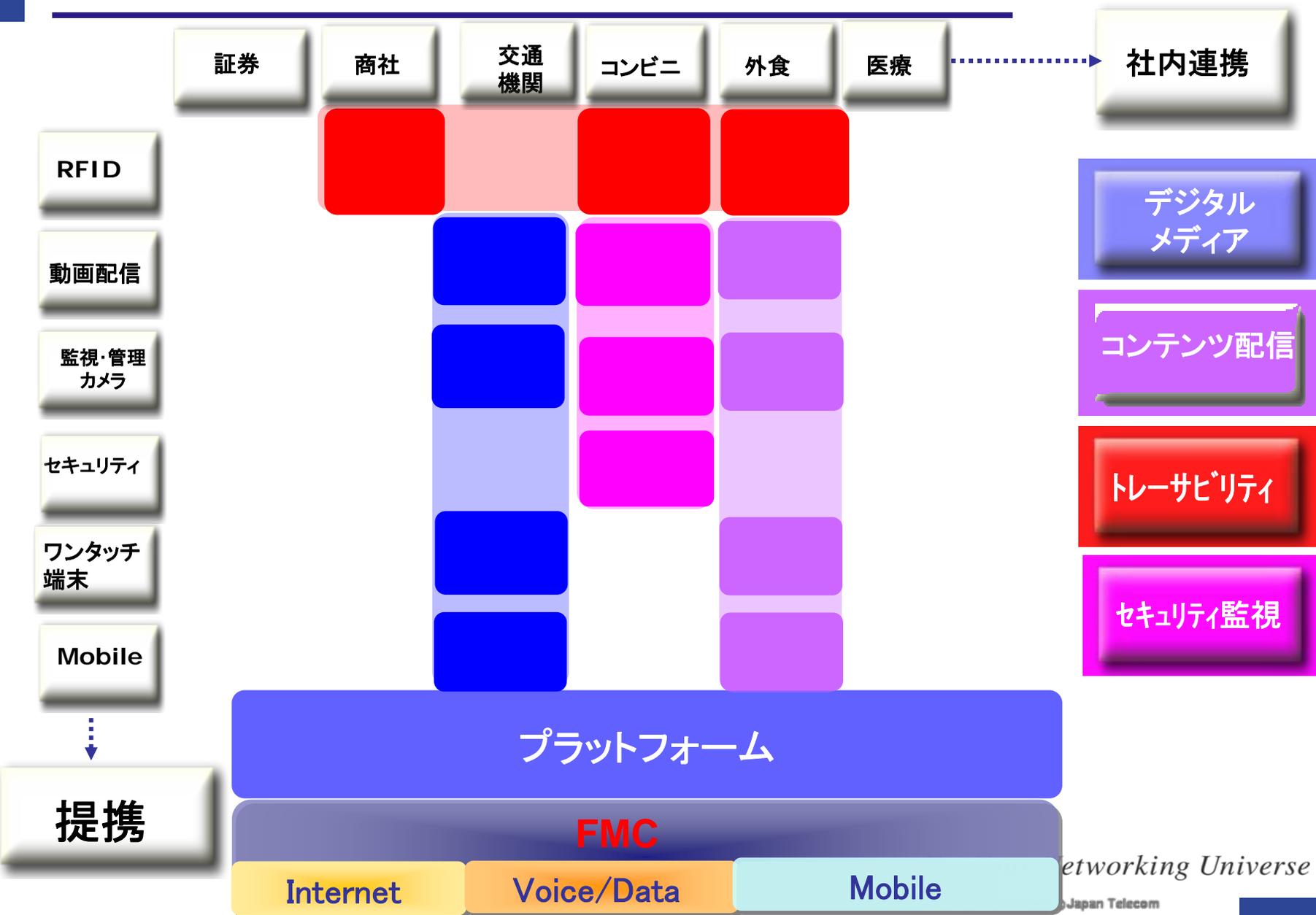
ICTソリューションへのアプローチマッピング



■各事業本部の取り組み

事業本部	FY05	FY06
音声	マイライン おとくライン 国際	おとくライン・IP電話・携帯を含む 統合音声ソリューション
インターネット ・データ	インターネット Wide-Ether Solteria	ビジネスに最適なICTプラットフォームインフラ ULTINAサービスの増強
ソリューション	Managed- Gateway IP電話など	ICTを活用した新事業分野への挑戦 機能におけるアライアンス&アグリゲーション
アウトソーシング	NWアウトソーシング インテグレーション データセンター	ビジネスの選択と集中をサポートする フルアウトソーシングへの対応強化
国際	E2E Global Solution	海外拠点の強化と国際市場の開拓 国際サービス・アライアンス強化
U-トランス フォーメーション	コンサルティング	ICTサービスで最大効果が期待できる分野 における経営コンサルテーション
ICT エンジニアリング	エンジニアリング サービス	多様化する多角的能力を発揮できる リソースマネジメントと人材開発

■各種ソリューションエリア: インダストリー × 技術





ご清聴ありがとうございました。